



### インターンシップの様子から

当館では、インターンシップの受入れを行っています。

今年度は、平成28年8月17日(水)から19日(金)、23日(火)、24日(水)の5日間、北海学園大学、藤女子大学、武蔵女子短期大学、都留文科大学(山梨県)の学生8名を迎え実施しました。

図書館業務についての講義をはじめ、図書へのブックコートかけや図書等の配架、子ども向け展示用ディスプレイ製作、カウンター業務など、多様な業務の一端を体感してもらいました。

学生のみなさんの力作であるディスプレイは、平成28年10月1日(土)から11月29日(土)までの展示「ハロウィーンがやってきた!」を盛り上げてくれました。

## 目 次

トピック「北海道図書館大会ってどんなもの? ~図書館に関心のある方はどなたでも参加できます!~」	1
平成28年度全道図書館サービス研修	6
平成28年度全道図書館専門研修(サービス/地域資料)	7
北海道立図書館書庫ツアー(道民カレッジ連携講座)/今年度の展示から ハロウィーンがやってきた!	8
冬休み特別展示「冬休みだヨ★大型えほん!」を開催しました	9
北方資料室の1年を振り返って	10
北海道立図書館に『本のリサイクルボックス』が登場	12
平成28年度北海道立図書館協議会	13
平成29年度事業計画	14
平成28年度全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰	15
平成28年度下半期事業一覧	16

トピック

## 北海道図書館大会ってどんなもの？

～図書館に関心のある方はどなたでも参加できます！～

毎年、北海道図書館連絡会議（北海道図書館振興協議会、北海道地区大学図書館協議会、私立短期大学図書館協議会北海道地区協議会、北海道学校図書館協会、専門図書館協議会（北海道地区連絡会））と当館が主催し、北海道図書館大会を開催しています。今年度開催された第58回北海道図書館大会では、例年行われている企業等による協賛出展に加え、新たに非営利団体等による情報出展が開催されました。

今回は、本大会を一部振り返りながら、北海道図書館大会について紹介します。

※大会詳細は、当館ホームページ掲載の『北海道図書館大会大会記録』をご覧ください。

日 時：平成28年9月8日（木）、9日（金）

会 場：北星学園大学（C館、A館）

参加人数：225名

日 程：

9月8日（木）

12:15 13:00 13:30 15:00 15:30 17:00 17:30 19:00

受付	開会式	特別講演 「北海道の魅力の再発見と発信」 講師 鈴木亜由美氏 (株式会社クリエイティブオフィ スキュー代表取締役)	ブース 見学	分科会 (第1～3)		交流会
----	-----	---	-----------	---------------	--	-----

9月9日（金）

9:00 9:15 10:45 11:15 12:00 12:10 13:00

受付	分科会 (第4～6)	ブース 見学	トピック 「視覚障がい者サービ スにおける図書館連携」 情報提供 北海点字図書館 姉崎久志氏	開会式	ブース 見学
----	---------------	-----------	--	-----	-----------

北海道図書館大会の参加者は、主に図書館関係者ですが図書館に興味のある方はどなたでも申込可能です。

講演については、毎年、一般の方も参加されています。

9月8日、開会！  
テーマは「新しい力を持つ図書館 ～社会生活におけるパートナーとして～」



## ○特別講演

大泉洋さんからTEAM NACSが所属する株式会社クリエイティブオフィスキューの代表取締役である鈴木氏に、「北海道の魅力の再発見と発信」と題し、経営者、プロデューサーとして、北海道の食文化を創出・発信する事業を通じた地域貢献についてお話いただきました。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・「北海道の魅力をどう見つけ、多くの人に発信していくのかを知ることができ、とても参考になりました。図書館でも、北海道の魅力が詰まった本はたくさん置いているので、それを多くの人に発信できるよう努めていきたいです」
- ・「お話の面白さ！一時間半では足りない程でした。「きっかけを与えるだけでいい」という一言は、図書館にも応用できると思いました」
- ・「北海道を想う鈴木さんのお話に感動しました。自分も地域の事を想って働こうと思いました」
- ・「北海道になじみが深い「クリエイティブオフィスキュー」や「TEAM NACS」の話を中心にあまり知られていない逸話や苦労話を聞くことができ、彼等の魅力を再確認させられました」

特別講演「北海道の魅力の再発見と発信」に合わせて会場前に関連資料を展示しました！



## ○分科会、トピック

講義や事例発表等が行われた各分科会、トピックにおいても多くの声が寄せられました。

分科会	分科会名	講師名
第1	「多読は面白い：英語多読運用実践事例」	北海道大学附属図書館 利用支援課課長補佐 菊池 満史氏 北海道教育大学附属図書館 函館館学術情報グループ総括係長 赤坂 恵理子氏
第2	「『需要は供給を創る』－『人』と『資料』を軸に考える」	元藤女子大学教授 渡邊 重夫氏
第3	「公共図書館ビジネス支援最前線と専門図書館連携の提案」	武蔵野大学教養教育リサーチセンター客員教授・ビジネス支援図書館推進協議会会長 竹内 利明氏
第4	「大学図書館の役割を考える：地域貢献、図書館連携」	東京外国語大学総務企画部学術情報課長 茂出木 理子氏
第5	「図書館と観光の融合の可能性について」	北海道大学観光学高等研究センター学術研究員 松本 秀人氏
第6	「高齢者や図書館利用に障がいのある方々へのサービスのために」	北海道図書館振興協議会調査研究チーム
トピック	「視覚障がい者サービスにおける図書館連携」	情報提供：北海点字図書館 姉崎久志氏

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・「英語多読について、二大学の例を比較しながら聞くことができ有意義でした」（第1分科会）
- ・「地域、経済格差に関係なく全ての人が平等に本や情報に触れる必要性があることを、改めて実感しました。読書活動と、学習能力の関係、人格の形成への関係など、具体的な調査結果を示しながら聞くことが出来、とても勉強になりました」（第2分科会）
- ・「図書館でのビジネス支援というものを、実際どのようにやれば利用者の役に立たせることができるのかまよっていたので、分科会での講義がとても役立ったと思います。実績のある図書館も紹介いただいたので、参考にしつつ自館のニーズに合ったビジネス支援に挑戦していきたいです」（第3分科会）
- ・「ワークなどを通し、大学図書館、公共図書館の連携について学ぶことができました」（第4分科会）
- ・「図書館は単なる本を借りる施設ではなく、地域の記憶装置であり、情報の濾過装置であり、文化の可視化装置であるという視点が興味深かった。はじめは、財力のある市でないとい取り組みないかと思ったが、事例紹介を見て、知恵と努力次第と感じた」（第5分科会）
- ・「いろいろな地域の方の悩みを聞いて、対策を考えられて良かった。悩みの共通もあり大変良かった」（第6分科会）
- ・「障害者サービスについてはむずかしいイメージでしたが、迷ったら相談すればいいんだと気持ち楽になりました」（トピック）
- ・「サービスの需要がないからといって、提供をやめるのではなく、PR を工夫したり、点字図書館との連携を行い、全ての人に資料を提供できる図書館を目指していきたいと感じました」（トピック）
- ・「利用がないのは利用できることを知らないだけかもしれないというのはハッとしました。サピエというネットワークを知ることができてよかったです」（トピック）



## ○ブース展示

ブース展示は、協賛企業11社のうち9社による協賛出展と、応募のあった非営利団体等（大会参加者有志）7団体による情報出展等が行われ、賑わいを見せました。

賑わいをみせるブース展示会場フロア  
パンフレット等の無料配布コーナーもあり、  
情報がたくさん！



## <情報出展 出展団体>

団体名	展示名	内容
全道視覚障害者情報提供施設協議会 (社会福祉法人ほくてん)	「サビエ」を活用して読書が困難な人にも開かれた図書館に	視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」の紹介デモ。活用方法や音声デジタイズ再生機器など必要な機器も紹介
Deep library project (BICライブラリ)	deep library project ～専門図書館へようこそ～	専門図書館をつなげ、専門図書館を探す検索サイト deep library project 紹介、パンフレット案内
公益財団法人ふきのとう文庫	布の本 拡大写本展	布の本 拡大写本の展示
社会福祉法人北海長正会 北広島リハビリセンター	障害者福祉施設における図書館サービスの活用～本の宅配サービスが運んでくれるもの	市の公共図書館に相談し、サービス利用が開始した「本の宅配サービス」の利用状況等紹介
北海道の図書館職員を中心とした有志による自主的な勉強会 (仮)	北海道の図書館職員を中心とした有志による自主的な勉強会 (仮)	これまでの活動内容と勉強会参加者の声紹介
北海道立図書館 (企画支援課)	道内図書館 (室) 発! “読書ノート・読書通帳” 展	道内図書館 (室) から提供された読書ノート・読書通帳の展示
北海道立図書館 (90周年事業プロジェクトチーム)	北海道立図書館のあゆみ展「道民とともに、図書館とともに」	パネル展示



全道視覚障害者情報提供施設協議会



Deep library project

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

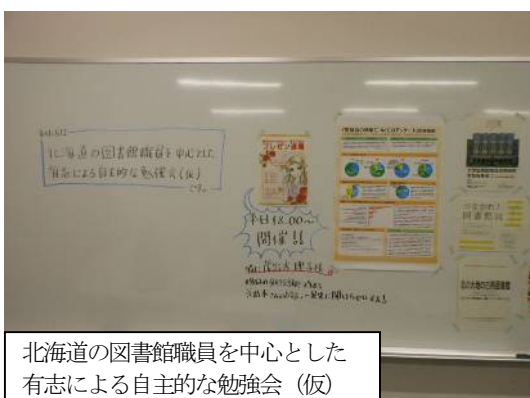
- ・「専門図書館のデータベースなど新たな分野を知ることができました」
- ・「仕事をしていく上で参考になる展示がありました。今後の参考にしていきたいと思います」
- ・「実際に手に取って見なければわからない感覚を、体験することが出来ました」
- ・「読書通帳等、色々なアイデアがあり参考になりました。見ていて楽しかったです。自分が感じた「ワクワク」を利用者にも届けられたら…と思います」



公益財団法人ふきのとう文庫



社会福祉法人北海長正会 北広島リハビリセンター



北海道の図書館職員を中心とした有志による自主的な勉強会（仮）



北海道立図書館（パネル展示）



北海道立図書館（読書通帳、読書ノート展示）

北海道内の公共図書館、図書室のご協力を得て、「読書ノート」「読書通帳」など、読書記録を書き込めるノート等の実物と紹介カード（提供館記入）の展示を行いました！

初めての試みとなった情報出展は情報収集と体験の機会となり、出展団体と参加者が交流する場面も見られました。出展者にとっても参加者にとっても有意義なものとなったようです。

（企画支援課）

## 平成28年度全道図書館サービス研修

○期日：平成28年10月5日（水）～6日（木） ○会場：北海道立図書館 ○参加人数：27名

○内容：

講義「理学療法士に学ぶ！高齢者、障がい者への配慮」

医療福祉学博士(PhD)/日本認知症学会会員/専門理学療法士/介護支援専門員 結城 俊也 氏  
実践発表「みんなで声を出すって楽しい！「音読教室」を10年続けて」

浦河町立図書館ボランティア 小野寺 信子 氏

講義「誰にでも、見やすい広報を ウェブアクセシビリティを中心として」

北星学園短期大学部非常勤講師/株式会社ラプト専務取締役 小賀 聡 氏  
グループ協議「高齢者・障がい者サービスの取組み」

進行：北海道立図書館 総務企画部企画支援課長 桑原 裕子

高齢化社会や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の制定を踏まえ、図書館として取り組むべき配慮や工夫を知り、図書館サービスの向上につなげるため、「高齢者・障がい者への図書館サービス」をテーマに開催しました。



一日目は、理学療法士であり、千葉メディカル医療センターで長年にわたり患者の治療に携わってこられた結城氏を講師に迎え、高齢者に多い疾患の配慮のポイントや認知症、知的障がい・発達障がいに対する接し方のポイントなどを学ぶとともに、実際の杖や車椅子を使い、扱い方などについて実習を行いました。参加者からは、「具体的な内容で、実践に繋げやすい。」など好評でした。

二日目の最初は、浦河町立図書館で10年以上、高齢者を対象とした「音読教室」を続けてこられた実践発表として、時間割や本の選定方法など、具体的な運営についてお聞きしました。また、実際に参加者も声を出して音読を体験しました。

次に、ホームページなどウェブ上にある広報等への留意点として、ユニバーサルデザインや、高齢者や障がいのある人に重要なスクリーンリーダーの機能、それに対応する表記の具体例などを学びました。参加者からは、「誰にでも分かり易いホームページを意識した。自館のページもチェックしたい。」など感想が挙げられました。

最後に、今回の研修で学んだことや気付いたこと、自館で取り組んでいる、または取り組みたい高齢者・障がい者サービスは何かということを中心に、グループ協議と発表を行い、情報を共有しました。  
(企画支援課)

## 平成28年度全道図書館専門研修（サービス／地域資料）

○期日：平成29年1月20日（金） ○会場：北海道立図書館 ○参加人数：20名

○内容：

講演「まちの記憶を記録し続けるということ」 まち文化研究所主宰 塚田 敏信 氏  
情報交換

事例発表①「まちの暮らしを発信する！ ～地域に根ざした資料展示～」

市立小樽図書館長 鈴木 浩一 氏

事例発表②「交流職員は来た！見た！知った！地域資料の底ヅカラ」

北海道立図書館利用サービス部北方資料課主査 海藤 久仁子

対談「緊急対談！！まち文化研究所VS公共図書館 「まち」応援団たちの「まち」トーク」

まち文化研究所主宰 塚田 敏信 氏 ・ 市立小樽図書館長 鈴木 浩一 氏

演習「まち文化バトル」

図書館業務に関わる特定分野のスキルを高めることを目指す「全道図書館専門研修」を、道南地区（函館市）と道北地区（稚内市）、道立図書館を会場に、四つの分野にわたり今年度4回開催しました。地域に根ざす図書館サービスに重要な地域資料の分野では、「地域資料を使った『まちおこし』と『まちのこし』」をテーマに、わがまちの魅力を見つめ直し、その情報を集めて住民に提供することで、地域の実情に応じた課題解決やまちづくりに地域資料を役立てる方策を考える研修としました。

講演では、銭湯など古くからある地元の商店を調査し報告書にまとめる高校生の活動や、地元有缘のある講師を招いた高等学校の図書館講座の実践から、地域の記憶をいきいきとした人間関係を通して記録に残していく活動のあり方について述べられました。



また、事例発表では、小樽市ゆかりの漫画家山花紀之氏による小樽が舞台となった作品『聖樹のパン』を土台に、パンに関する所蔵資料だけでなく、市内のパン店を取材して紹介するなど、地域の暮らしに絡めた市立小樽図書館の展示の事例が報告されました。

会場には、銭湯の風呂桶や薬店の置き薬の箱、高校生による報告書など、現物や紙の資料が賑やかに展示されたほか、市立小樽図書館で使用された展示パネルやキャプションも置かれ、展示による情報発信の具体例が示されました。

地域の記録として、あらゆるものが地域資料となること、また、まちの記憶を記録に残す活動に、学校など住民との協働やまちおこしの可能性があることに気付く研修となりました。

（企画支援課）

## 北海道立図書館書庫ツアー（道民カレッジ連携講座）

当館では、普段は公開していない書庫を案内する「書庫ツアー」を毎年開催しています。平成28年度は道民カレッジ連携講座の一環として、11月3日（木・祝）、に一般向けのツアーを行いました。

ツアーの前段には、北海道立図書館90周年を記念して、「北海道立図書館の歴史」の講義を開催しました。参加者は興味深く聞き入っていました。

今年度の書庫ツアーは、50年間にわたり栗田書店から寄贈された資料群（栗田文庫）を中心に、実際に参加者がそれらの資料を手にとって閲覧する時間を長くとりながら実施しました。栗田文庫には、昭和を彩る懐かしい図書や雑誌が数多く含まれています。実際に手にとって本を見る時間を長くとったことは、参加者から大変好評をいただきました。

（利用サービス課）



## ハロウィーンがやってきた！

昨年8月、図書館司書を目指して勉強中の学生8名が当館で行った実習の一環として、えほんコーナーの展示パネルを制作しました。ハロウィーンというテーマが創作意欲を刺激したのか、アイデアを出すのが得意な人、手先が器用な人、イラストやデザインが好きな人…と自然と分担が決まって着々と作業が進み、あっという間に大きなパネルいっぱいには魔女やこもり、おばけ、かぼちゃ等のハロウィーンらしいモチーフが並ぶ楽しい作品が出来あがりました。



180冊の“すこし不思議でちょっぴり怖い”子ども向け図書と共に展示したこのパネルは、ハロウィーン前後の2か月間エントランスホールを華やかにしてくれました。

（利用サービス課）

## 冬休み特別展示「冬休みだヨ★大型えほん！」を開催しました

「初めて大型絵本を見た人は2度驚く」と言います。一つは大きさに、もう一つは値段に（高い！）。その大型絵本を道立図書館では200冊ほど所蔵しています。しかし、大型絵本は本棚に入りきらないため、多くは書庫の中にしまわれています。1月4日（水）から15日（日）にかけて開催した「冬休みだヨ★大型えほん！」では、えほんコーナーの本棚に並べきれず、普段はしまわれている大型絵本から、選りすぐりの50冊を展示しました。会場となった研修室では、座ったり、寝ころんだりしながら大型絵本に親しむ親子連れも多く、大画面の迫力に喜ぶ子どもたちの笑顔があふれていました。

大型絵本は、通常の絵本と同じく貸出しを行っています。閲覧室のカウンターでご希望の大型絵本の書名をご相談いただければ書庫からお出します。小学校や幼稚園の教室で行う読み聞かせに、地域の子どもたちのための行事などに、ぜひご活用ください。



### 《 テーマ展示資料リスト公開中！ 》

図書館では、様々なジャンルの本を読んでもらうために、季節の行事・イベントに合わせた、時宜を得たテーマによる資料展示を行っています。

当館ホームページでは、当館で行った資料展示のリストほか、市町村図書館（室）が資料展示を行うために貸し出した資料を「展示貸出資料リスト（市町村開催）」として紹介しています。展示の様子の写真を掲載しているリストもありますので、他の図書館（室）ではどのような展示を行っているのかご覧いただけます。

市町村図書館（室）や学校図書館で同じようなテーマの展示をする場合、リストの資料をそのまま利用できますので、どうぞお申し込みください。



当館ホームページの「今日の展示・展示リスト」にて公開中です！↑

(利用サービス課)

## 北方資料室の一年を振り返って

### ■ 書庫ツアー「北方資料コレクション ～北越殖民社関係資料～」(道民カレッジ連携講座)

日時：平成28年9月10日(土) 14:00～16:00

会場：北海道立図書館研修室、第一書庫 参加者：23名

明治中期に入植し、江別の発展に寄与した北越殖民社の創立から解散までのコレクション「北越殖民社関係資料」をテーマに開催しました。

ツアーでは、「北越殖民社」について説明した後、書庫を御案内しました。今回のツアーに上映してほしいと、



製作者から寄贈された映像資料『野幌原始林』も、内容の理解に大変効果的だったためか、終了後、参加者からは、今後の希望する事業として映像資料の上映会を望む意見が数多く寄せられました。この結果は今後の事業に役立てたいと思います。

### ■ 第17回資料で語る北海道の歴史講演会「地理学者による北海道史の研究について ～故井上修次博士の業績を中心に～」(道民カレッジ連携講座)

日時：平成28年11月12日(土) 14:00～16:00

会場：北海道立図書館研修室 参加者：64名

北海道史研究協議会の協力により、同会会員の大庭幸生氏を講師に迎え、開催しました。



講演は、故井上修次博士の業績を中心として、江戸時代から最近の北海道の地理関係の研究についてお話いただきました。

参加者からは、「地理学から歴史を紐解く視点は自分になかったので新鮮だった。」といった感想が聞かれ、大変興味深いものであったようです。

■ 北海道立図書館利用講座・北方資料活用講座「むかしの新聞にみる世相 ～社会面（三面記事）のいろいろ～」(道民カレッジ連携講座)

日時：平成28年11月19日（土） 14：00～16：00

会場：北海道立図書館研修室 参加者：27名

当館創立90周年を記念し、フリーライターの渡辺真吾氏を講師に迎え、開催しました。

社会面（三面記事）は、明治大正期では娯楽のひとつだったとのことで、その記事内容からは、意外にも当時は楽しく明るい時代だったことが窺え、参加者からも「今までの認識が変わった。」といった感想が多く聞かれました。大変楽しい雰囲気にも包まれた講座でした。



《 交流人事報告 》 小樽から交流人事でやって来ました！ 海藤です！！

平成28年4月、多くの人から励まされ、交流人事によって市立小樽図書館から北方資料室に配属されましたが、毎日が戸惑いと驚きの連続です。一番の戸惑いは、自分の中の「慣れ」からくる認識不足です。

例えば、地域資料に関する質問。道立図書館は北海道全域が対象になりますが、小樽だと、そのほとんどが小樽の港や商業に関するもので、開拓や炭鉱の質問を受けたことがありません。そのため、小樽市以外の資料に関心が薄く、熱心に収集してこなかったのが、蔵書構成は偏りますし、実際には北海道発展の歴史から見れば、どちらも不可分の関係にも関わらず、全体の歴史を学ぼうという、積極的な意識がなかったように思います。「慣れ」というのは、自分の中に偏った思考回路を生んでいたようです。これで「司書」を名乗るなんて、恥ずかしや…。

また、過去の資料には関心があっても、今現在の資料の収集には関心がなかったかも…。「今」



はすぐに過去となり、その蓄積が、未来に残すべき大切な地域資料になるというのに。ああ。とはいえ、知らないことを知るといのは、非常に楽しく、喜びでもあります。本を開きながら、「へええ〜！」と、奇妙な声を上げて、注目を浴びることもあります。あと1年ですが、しっかりがんばりたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願ひします！！

(北方資料課)

## 北海道立図書館に『本のリサイクルボックス』が登場

当館では、家庭で読み終えた本を寄贈したいという利用者からの声にお応えし、開館時間中に、いつでも本が寄贈できる投函箱を設置することになり、昨年11月から当館玄関に設置してご利用いただいています。『本のリサイクルボックス』と名付けられた寄贈箱による寄贈の呼びかけは、市町村の図書館などではおなじみのものですが、当館にとっては初の試みとなるものです。

本のリサイクルボックス設置の経緯は、昨年夏に行った当館90周年記念事業にさかのぼります。「ブックシェアであなたの本を届けよう」というコーナーを覚えておられる方も多いと思います。このコーナーは、道内の読書支援はもとより東日本大震災の際には、岩手県陸前高田市において図書館づくりの支援や本の寄贈活動に活躍した一般社団法人北海道ブックシェアリングの活動をパネルで伝え、そのお手伝いになればと、同団体に提供する本の寄贈の呼びかけを行ったものです。



来場者からは、「道内にはまだまだ読書環境に恵まれない地域が数多くあることがわかった」「本の寄贈や読み聞かせを独自に行う読書団体の活動に深く共感した」などの声が聞かれ、さらに、「読み終えた本が読書ボランティア団体の手によって次の読者にわたる活動支援のお手伝いができるように、図書館もその橋渡しとなる場を設けてみてはどうか」といったご提案も聞かれました。本のリサイクルボックスの設置は、こうした声をもとに生まれたものです。

12月に入った第1回目の開封日には100冊を超える本が初めて箱から取り出され、1月末までに投函していただいた本は640冊を数えます。本のリサイクルボックスに投函していただいた本は、当館の寄贈資料、北海道ブックシェアリングの支援（寄贈）に利用されます。

1月27日には、第1回分を北海道ブックシェアリングに引き渡すことができました。

(資料課)

## 平成28年度北海道立図書館協議会

今年度の協議会は、次のとおり開催しました。

- ・ 第1回 平成28年 7月21日(木) 北海道立図書館研修室 出席委員 7名  
議題1 平成27年度業務実績について  
その他
- ・ 第2回 平成28年11月25日(金) 北海道立図書館研修室 出席委員 7名  
議題1 会長及び副会長の選出について  
2 平成28年度の活動状況について  
3 新しい北海道立図書館推進計画について  
その他
- ・ 第3回 平成29年 3月16日(木) 北海道立図書館研修室 出席委員 7名  
議題1 「平成29年度北海道立図書館運営計画(案)」について  
議題2 「北海道立図書館事業推進計画」(平成30年度～34年度)について  
その他

■ 門前委員の平成28年5月7日付け北海道学校図書館協会会長辞任に伴い、齋藤委員(札幌市立啓明中学校長)が6月23日付けで就任されました。

■ 今年度は図書館協議会の改選期で、平成28年11月1日から2年間の任期として、各関係団体等の推薦及び公募により10名の委員が就任しました。  
今回の改選により、6名の委員が新たに就任され、女性の委員は4名となりました。

■ 協議会に関する情報をホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。

ホームページアドレス : <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

トップページ>道立図書館について>道立図書館協議会

(管理課)

## 平成29年度 事業計画

月	上 旬	中 旬	下 旬
4		北図振 第1回理事会・総会 (20日 札幌市)	子ども読書の日(23日) こどもの読書週間(4/23~5/12) 図書館記念日(30日)
5	図書館振興の月 書庫ツアー(子ども向け)	北学図 定期総会(13日 札幌市)	北読進協 総会(札幌市) 全公図 第1回理事会(24日 東京都) 日図協 第1回理事会(26日 東京都)
6	北図振 全道図書館新任職員研修会 (1~2日 当館)	北日図連 総会・第1回理事会 (15日 盛岡市) 北日図連 北日本図書館大会 (15~16日 盛岡市) 日図協 公共図書館部会総会、代議員総会(16日 東京都)	第1回北海道図書館連絡会議 全公図 定期総会(30日 東京都)
7	北図振 全道図書館中堅職員研修会 (6~7日 当館) 北図振 管内図書館振興協議会等地方研究集会(7~2月 各管内で開催)	第1回北海道立図書館協議会	書庫ツアー(北方 22日) 北図振 「北海道図書館関係職員録」発行 道立図書館まつり(30日)
8	学校図書館職員スキルアップ講座 (前期)		
9	北図振 北海道図書館大会 (7~8日 札幌近郊) 書庫ツアー(北方 9日)		
10		日図協 全国図書館大会(12日~13日 東京都) 北図振 専門研修(サービス/レファレンス)(19日~20日 当館)	読書週間(10/27~11/9) 文字・活字文化の日(27日) 北図振 「北海道の図書館-平成29年4月現在-」発行
11	北読進協 優良読書グループ表彰 図書館総会展(7~9日 横浜市) 書庫ツアー(一般)	第2回北海道立図書館協議会 北図振 第2回理事会全道図書館長会議 北図振 専門研修(子ども読書/地域支援)(15日 中標津町)	第2回北海道図書館連絡会議 日図協 公共図書館全国研究集会※'(経営部門、サービス部門合同)(30日~12月1日 宮城県)
12	北学図 青少年読書感想文全道コンクール及び北海道指定図書読書感想文コンクール(3日 札幌市)	北図振 専門研修(経営/関係法規)(道央地区)	
1	北学図 北海道学校図書館研修講座 学校図書館職員スキルアップ講座 (後期)	北図振 全道図書館専門研修(サービス/資料保存)(18日 当館)	日図協 公共図書館全国研究集会(児童青少年サービス部門)(大阪府) 全公図 第2回理事会(書面)
2	書庫ツアー(子ども向け)		北日図連 第2回理事会(書面)
3		第3回北海道立図書館協議会	

※' 平成29年度は「北日図連 北日図連研究協議会」を兼ねる。

※ 上記の日程は変更になる場合があります。

### <凡例>

- ・北図振・・・北海道図書館振興協議会 ・北日図連・・・北日本図書館連盟 ・北読進協・・・北海道読書推進運動協議会
- ・北学図・・・北海道学校図書館協会 ・日図協・・・日本図書館協会 ・全公図・・・全国公共図書館協議会

平成28年度  
全国優良読書グループ表彰・優良読書グループ北海道表彰

北海道読書推進運動協議会

(公社)読書推進運動協議会では、「読書週間」事業のひとつとして、全国優良読書グループ表彰を実施しています。北海道読書推進運動協議会においては、全国表彰への推薦と合わせて独自に北海道表彰を行っており、次の皆様が受賞されました。

**全国表彰（1団体）**

- あざらしおはなし会 羽幌町 平成元年設立

**北海道表彰（5団体）**

- ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん 安平町 平成18年設立
- 名寄本読み聞かせ会 名寄市 昭和49年設立
- 読みきかせ会ムーミン 上富良野町 平成19年設立
- おはなししゃぼん玉 斜里町 平成13年設立
- 絵本の会はらっぱ 足寄町 平成10年設立

**受賞グループの詳細について**

北海道読書推進運動協議会が発行している『北読進協だより』第29号に、受賞グループの寄稿文が掲載されています。

『北読進協だより』は北海道立図書館ホームページからご覧いただけます。

北海道立図書館ホームページトップ>関係団体等>北海道読書推進運動協議会

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/qulnh00000000eww.html>

(企画支援課)



2016・第70回読書週間ポスターと標語ロゴマーク

(公益社団法人読書推進運動協議会)

## 平成28年度下半期事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	北方資料コレクション紹介と書庫ツアー ～北越殖民社関係資料～	平成28年9月10日	北海道立図書館	「北越殖民社」コレクションを書庫の資料とともに紹介するツアー	23名	
2	全道図書館サービス研修	平成28年10月5日 ～10月6日	北海道立図書館	道内公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	27名	テーマ:高齢者・障がい者への図書館サービス
3	「発見・体験 文化の秋～遊ぼう!学ぼう!あつべつ・えべつ」	平成28年10月16日	札幌市 (サンピアザ 光の広場)	かるちやるnet主催イベント。(大型絵本やしかけ絵本展示、クイズラリー、ワークショップ等の体験型イベント)	—	かるちやるnet (文化施設連絡協議会) <a href="http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultural-net/">http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultural-net/</a>
4	暮らしに役立つ図書館講座 第1回「バリアフリーを考える」	平成28年10月26日	北海道立図書館	道運輸局連携し、バリアフリーについての講演を実施し、関連する資料の使い方を紹介	21名	
5	書庫ツアー	平成28年11月3日	北海道立図書館	普段入ることのできない書庫を案内するツアー	21名	
6	暮らしに役立つ図書館講座 第2回「地球温暖化と交通の関わり」	平成28年11月9日	北海道立図書館	道運輸局連携し、交通と地球環境についての講演を実施し、関連する資料の使い方を紹介	16名	
7	平成28年度北海道図書館振興協議会第2回理事会・全道図書館館長会議	平成28年11月10日	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、館長会議及び講話	41名	講話講師:渡邊 重夫氏 (元藤女子大学教授)
8	第17回資料で語る北海道の歴史講演会「地理学者による北海道史の研究について ～故 井上修次博士の業績を中心に～」	平成28年11月12日	北海道立図書館	地理学者の視点から見た北海道史の研究についての講演会(講師:北海道史研究協議会会員 大庭幸生氏)	64名	
9	全道図書館専門研修 (資料保存)	平成28年11月18日	稚内市 (稚内市立図書館)	道内公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	15名	テーマ:図書館資料を長く有効に活用するために
10	北海道立図書館利用講座・北方資料活用講座「むかしの新聞にみる世相 ～社会面(三面記事)のいろいろ～」	平成28年11月19日	北海道立図書館	明治期の新聞の三面記事の面白さを語る講座(小樽市在住フリーライター 渡辺真吾氏)	27名	
11	「かるちやるガーデン2016」	平成28年11月20日	札幌市 (Sapporo55ビル)	北海道教育大学博学連携イベント。(しかけ絵本・おはなし迷路・なつかしの雑誌展示、クイズラリー、ワークショップ等の体験型イベント)	—	かるちやるnet (文化施設連絡協議会) <a href="http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultural-net/">http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/cultural-net/</a>
12	全道図書館専門研修 (関係法規)	平成28年12月9日	函館市 (函館市中央図書館)	道内公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	20名	テーマ:図書館における著作権
13	学校図書館向け講座(後期) 「調べ方を学ぶ」	平成29年1月12日	北海道立図書館	学校図書館関係者を対象として「調べ方」を学ぶ研修を実施	20名	
14	全道図書館専門研修 (サービス/地域資料)	平成29年1月20日	北海道立図書館	道内公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	20名	テーマ:地域資料を使った『まちおこし』と『まちのこし』
15	全道図書館専門研修 (子ども読書/地域支援)	平成29年2月16日	北海道立図書館	道内公共図書館(図書室)職員、市町村教育委員会職員、学校図書館関係職員等向け研修	50名	テーマ:子どもの公共図書館ばなれストップ! ～魅せる図書館になる～

北海道立図書館報 第202号

平成29年3月16日 発行

北海道立図書館長 吉田 一 昭

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL : 011-386-8521 ( 代 表 )

ダイヤルイン

386-8531 ( 総務企画部 )

386-8522 ( 利用サービス部 )

386-8523 ( 北方資料室 )

FAX : 011-386-6906

E-mail : support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ : <http://www.library.pref.hokkaido.jp>